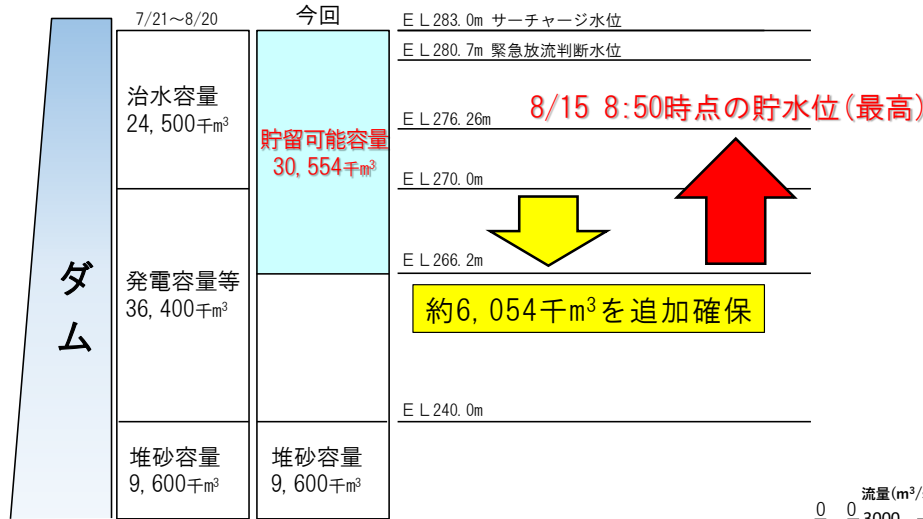


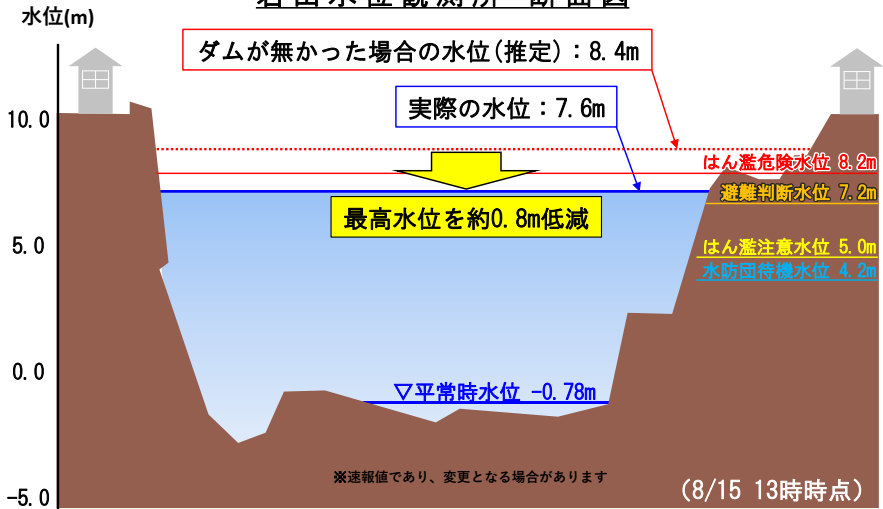
# 宮川水系 宮川ダムの洪水調節による治水効果(令和5年台風第7号)

- 宮川ダム雨量観測所において累積雨量695mm（最大時間雨量74mm）を記録（台風7号では**全国1位の累積雨量を観測**）
- 宮川ダムでは、**通常の洪水調節容量24,500千m<sup>3</sup>に加え、発電および水位維持放流により約6,054千m<sup>3</sup>の容量（洪水調節容量の約25%）**を追加確保し、台風に備えた。
- この降雨により最大2,378m<sup>3</sup>/sの流入が発生したが、ダムの洪水調節により994m<sup>3</sup>/sを貯留することで、ダム下流への放流を1,384m<sup>3</sup>/sまで低減し、岩出水位観測所で**約0.8mの水位低減効果**があったと推定されます。（氾濫危険水位以下まで低減）

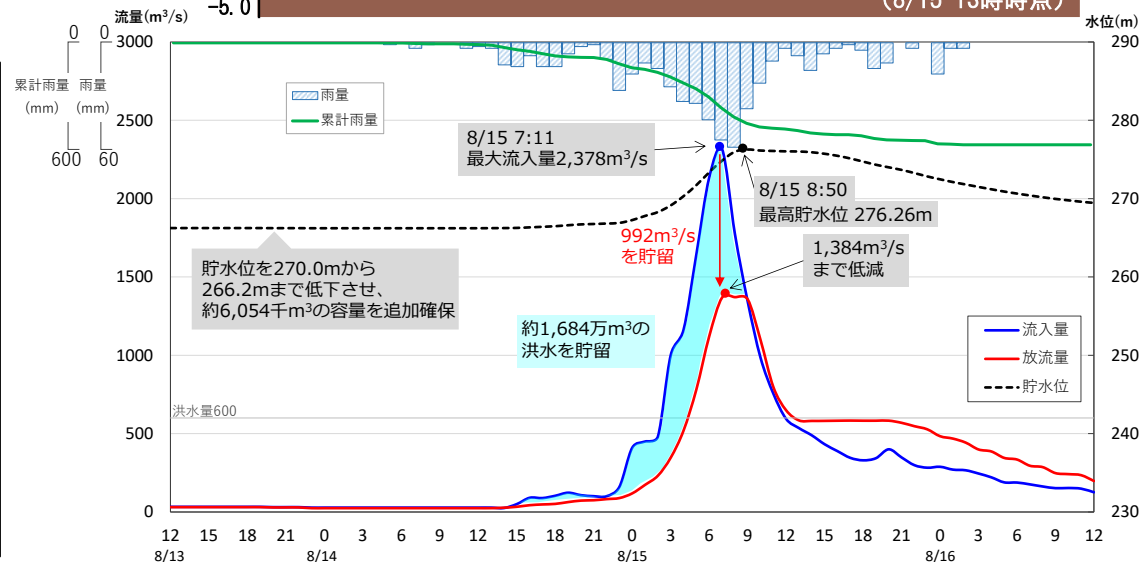
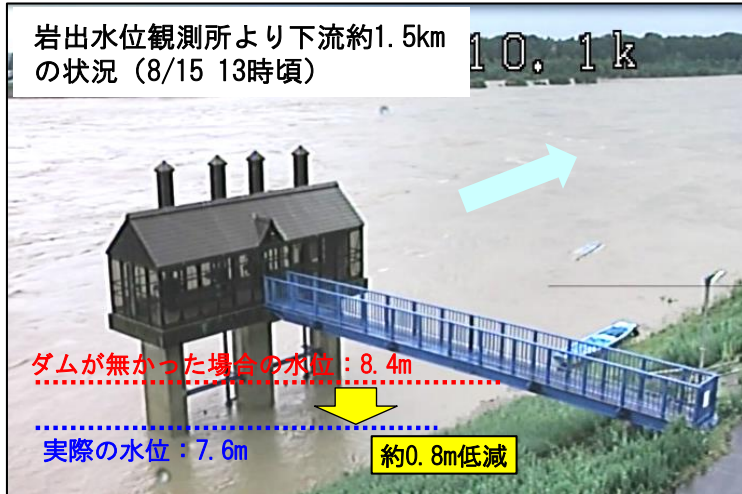
## 宮川ダム 洪水調節概要図



## 岩出水位観測所 断面図



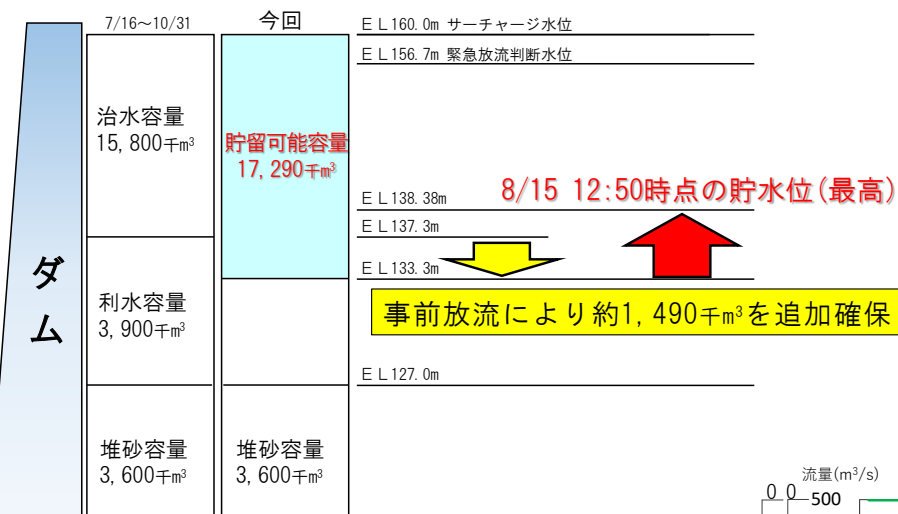
## 岩出水位観測所より下流約1.5kmの状況 (8/15 13時頃)



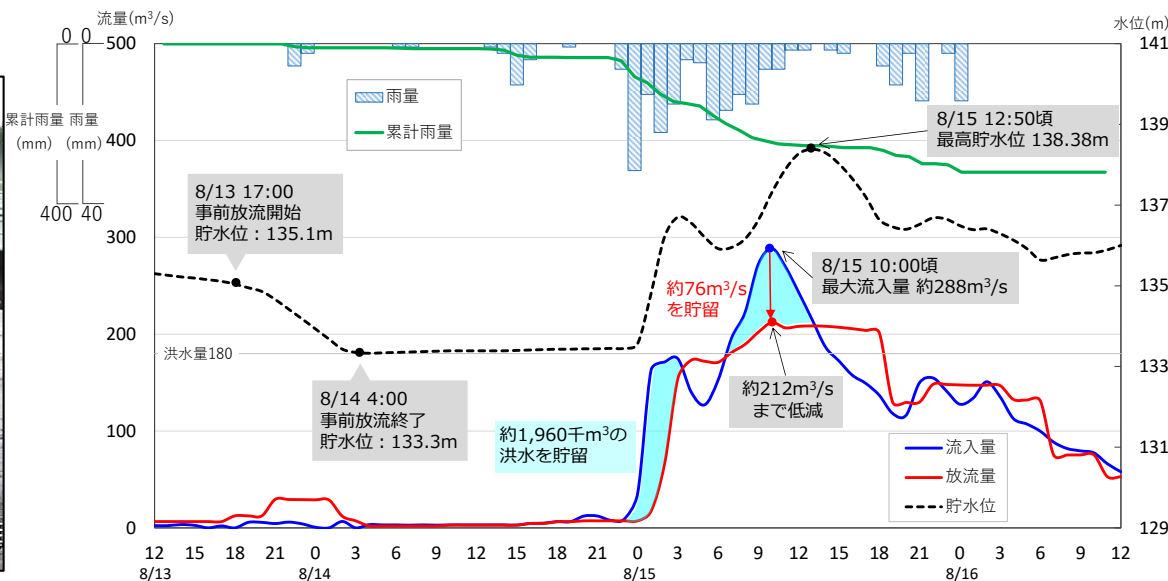
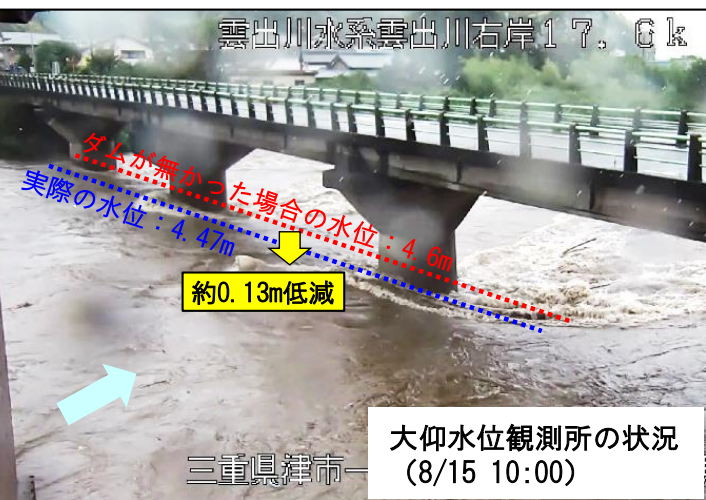
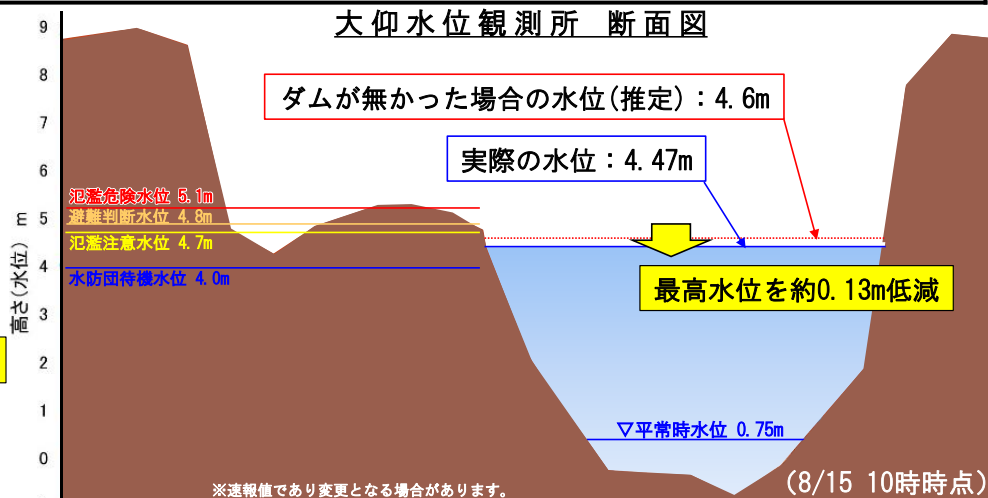
# 雲出川水系 君ヶ野ダムの事前放流及び洪水調節による治水効果(令和5年台風第7号)

- 君ヶ野ダム雨量観測所において累積雨量227mm（最大時間雨量43mm）を記録。
- 君ヶ野ダムでは、**通常の洪水調節容量15,800千m<sup>3</sup>に加え、事前放流により約1,490千m<sup>3</sup>の容量（洪水調節容量の約10%）**を追加確保した結果、下流域での浸水被害等を回避しました。
- この降雨により最大288m<sup>3</sup>/sの流入が発生したが、ダムの洪水調節により76m<sup>3</sup>/sを貯留することで、ダム下流への放流を212m<sup>3</sup>/sまで低減し、大仰水位観測所で**約13cmの水位低減効果**があったと推定されます。（氾濫注意水位以下まで低減）

## 君ヶ野ダム 洪水調節概要図



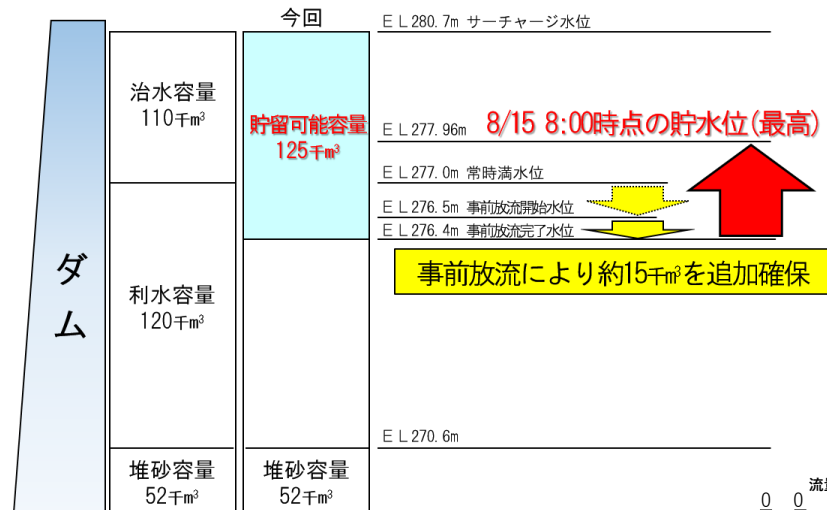
## 大仰水位観測所 断面図



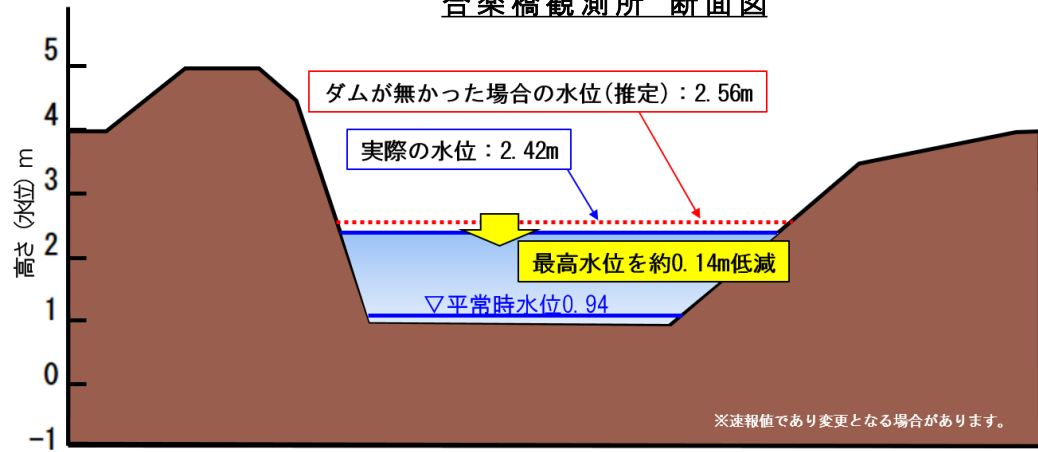
# 淀川水系 滝川ダムの事前放流及び洪水調節による治水効果(令和5年台風第7号)

- 滝川ダム雨量観測所において累積雨量238mm（最大時間雨量64mm）を記録。
- 滝川ダムでは、**通常の洪水調節容量110千m<sup>3</sup>に加え、事前放流により約15千m<sup>3</sup>の容量（洪水調節容量の約15%）**を追加確保した結果、下流域での浸水被害等を回避しました。
- この降雨により最大6.7m<sup>3</sup>/sの流入が発生したが、ダムの洪水調節により4.2m<sup>3</sup>/sを貯留することで、ダム下流への放流を2.5m<sup>3</sup>/sまで低減し、合楽橋水位観測所で**約14cmの水位低減効果**があったと推定されます。

## 滝川ダム 洪水調節概要図



## 合楽橋観測所 断面図



## 常用洪水吐からの放流状況

